

支出政策の分析視点

「公共経済学」第7回
別所俊一郎

公共支出政策の分析視角

2

- 問題が複雑化するなかで,
 - 詳細の多くは(議会ではなく)行政部門に任されている
 - 人々の意見を取り入れる制度枠組みがある
- 問われるべき問題とは
 - 必要か?
 - なぜそのような形態をとっているか?
 - 民間セクターへの影響は?
 - 誰が得をし, 誰が損をしているか?
 - 代替的な(パレート優越した)政策は存在するか? 導入のための障害は何か?
- 10段階に分割して考えてみよう.

1. 計画のニーズ

3

- 公共政策が想定されているニーズはなにか?
 - [歴史的]な分析も必要: 当時の状況, 推進者

- (例) 公的年金
 - 導入時には企業年金は十分でなかった
 - 民間の年金市場も発達していなかった
 - 貧困な高齢者の存在は社会問題化...

- (例) 食糧管理法
 - 食糧増産が国家的課題
 - 食糧価格が高くなりすぎる危険性があった

2. 市場の失敗

4

- 政府が介入すべき[市場の失敗]が存在するか?
 - ▣ 不完全競争, 公共財, 外部性, 不完備市場, 不完全情報
- [市場の失敗]がないとしても, 政府が介入すべきか?
 - ▣ 実現する[所得分配]が社会的に公正でない
 - ▣ 個人の[厚生判断]が不適切/不十分
- 「市場の失敗」があるかどうかは意見が分かれるかも
 - ▣ 初等教育: 本質的に私的財ではないか?
- 「市場の失敗」があるかどうかを確定することはとっても重要
 - ▣ [所得再分配]を求めているだけかもしれない

3. さまざまな政府介入の形態

5

- 政府はどのような形で市場に介入するか
- 公的生産
 - 生産物をどのように配分するか, どう価格をつけるか
 - 無料／割引／生産費価格
- 民間生産
 - 補助金／課税 →生産者／消費者
 - 財・サービスの提供は政府が行う
 - 生産量規制
- どのような規制・税・補助金が最も望ましいか
 - 「社会的革新」の必要性

4. 計画の主眼点の持つ重要性

6

- 計画の本来の目的に適合した規定になっているか
 - しばしば、神は細部に宿る
- とくに適格要件
 - 「貧しい人に生活保護を受給させたい」
→ 誰が「貧しい人」にあたるのか？
 - 適格要件が人々の行動を変えるかもしれない
 - シングルマザーへの補助は結婚を思いとどまらせる？

	真の適格者	真の非適格者
制度上の適格者	☺	[第2種の過誤]
制度上の非適格者	[第1種の過誤]	☺

5. 民間部門の反応

7

- 政府部門の政策に民間部門がどのように反応するか
 - 政府の政策が民間の行動を[crowd out]するかも
 - 例: 公的年金が貯蓄を減らす, ODAが援助を減らす...
- 長期的効果, 波及的効果をどうみるか
 - 「一般均衡効果」
 - [限界的な]インセンティブはどう設定されているか
 - 例: 公的年金のマクロ経済的効果
 - 例: 低所得者用住宅建設のための建設業者への政府補助金は, 実際のところどれほど低所得者へ転嫁されるか
 - 例: 生活補助基準より多いと受給できない

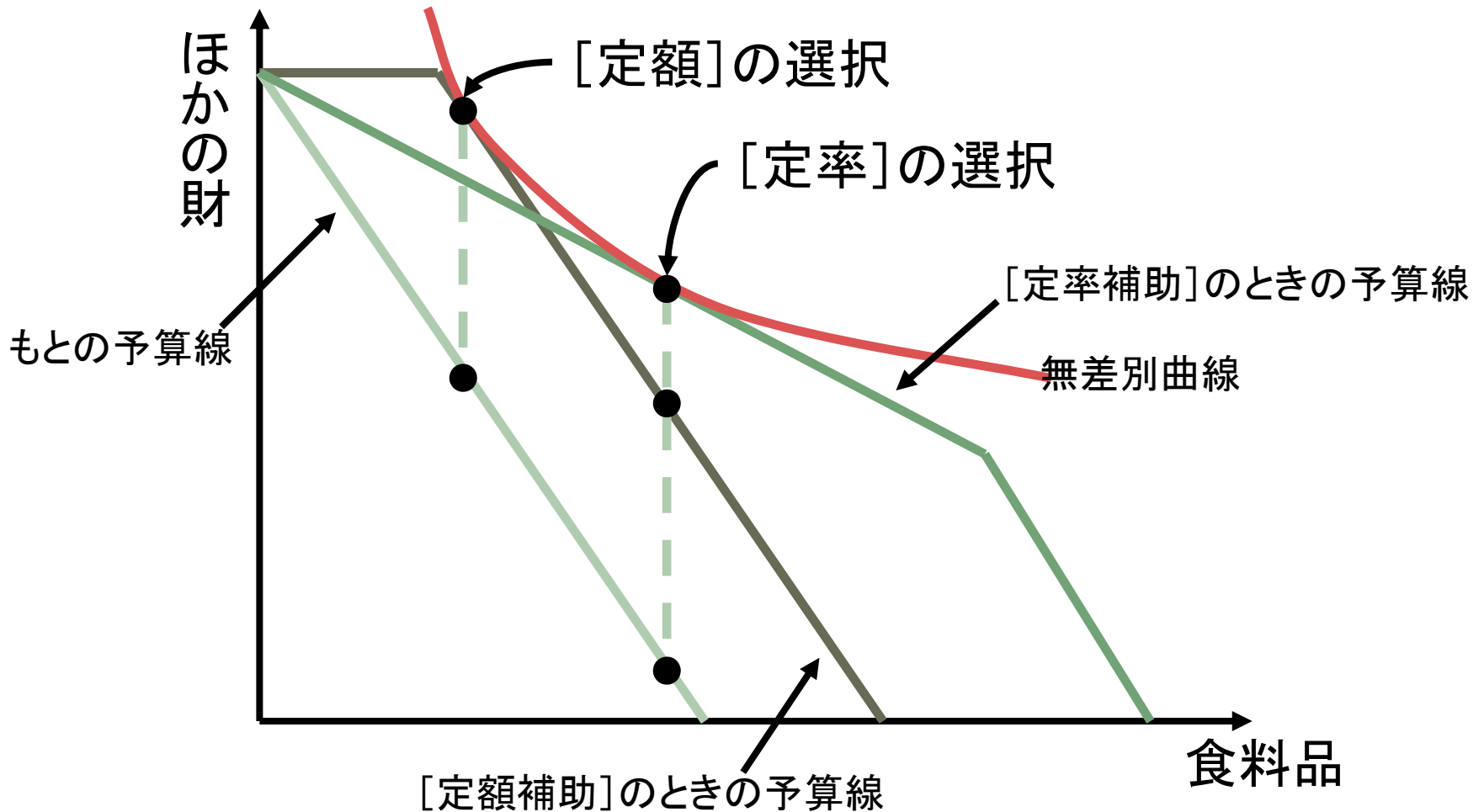
6. 効率面での効果

8

- 政府の介入が非効率性をもたらす可能性
 - [官僚制度]などの制度的な非効率性
 - 供給者間の[競争]がもたらす効率性
- 所得効果と代替効果
 - 財・サービスの価格の引き下げ→ [代替効果]
 - [相対価格]の変化
 - [所得効果]も存在する
 - 個人への一括補助金→ [所得効果]
 - [相対価格]は変化しない
 - 「非効率性」と関係しているのは[代替効果]のみ

6. 効率面での効果

□ [定率]補助金より[定額]補助金が望ましい理由



7. 分配面での効果

10

- 政策・プロジェクトで便益を受け、負担しているのは誰か？
 - [帰着]incidenceの確認. 効果の波及
 - 便益がどのように[転嫁]shiftされるか？
 - 例: 高齢者健康保険の便益: 高齢者? その子供?
 - 例: 家賃補助
 - 短期的には家賃を上昇させる効果も
 - 長期的には住宅供給を増加させ, 家賃は低下するかも
 - 例: 公共交通機関
 - 沿線の地価が上昇し, 家主・地主にも便益
- [資本化]capitalize
 - 便益と結びついた希少[資産]の価格が[上昇]すること
 - 政策が開始・発表された時点での所有者に便益

7. 分配面での効果

11

- 各個人にどのように便益が[帰着]したかの判定は困難
 - データ上の問題など
- どのグループにどれほどの便益がもたらされたか
 - 生産者グループ:[農業]政策のような産業政策
 - 世代グループ:[社会保障]政策
- [累進的]progressive, [逆進的]regressive
 - [累進的]:便益が貧しい人たちに多く帰着する
 - 例:高等教育のための支援
 - 貧しい世帯の子供たちが進学できるが, upper middleも?
 - 教育ローンは大卒者への支援→累進的?
- [公正]と分配
 - 「公正」fairnessという概念は明確には定義されない

8. 公平と効率のトレードオフ

12

- [公正さ]の判断を経済学者は避けてきた
- [公平性]と[効率性]のトレードオフ
 - ▣ 累進的な政策は可能だが、費用が伴う
 - ▣ 例:失業給付の増加 ⇔ 求職意欲の低下
 - ▣ 例:橋や道路の料金徴収 ⇔ 徴収費用, 時間ロス
- どれほど[効率性]を失ってもよいかについて合意が少ない
- どれほど[効率性]が失われるかについて合意が少ない
 - ▣ 規範的, 実証的な課題

9. 公共政策の目的

13

- 政策が持つより広い目的
 - ▣ 人権, 安全, 景観, . . .
- 政府はその目的の全てを明らかに前もって提示できるか
 - ▣ 明確に表現され執行される規制でなければ, 民間部門は気にしないかもしれない
 - ▣ 「政府の責任で実行」するとしても, 議会の考えが明確に官僚に伝わらないかもしれない

10. 政治過程

14

- 最終的に採用される政策は、折衷案
 - 誰か個人の見解とも似ていないし、目的とも矛盾するかも
- どのようにして政策が決まったのか？
- なぜこのような形の政策になったのか
 - 例：農業政策でなぜ価格安定化政策が採用されたか
 - 直接の[所得保障]では承認されない？
 - 価格安定化政策の[再分配]効果が理解されていない？
 - とくに影響を受けるグループが影響力を持つかも
- 政策は少なくとも部分的には有権者の意見を反映する
 - 単純なものが好まれるかも
- 政治圧力や汚職にどのように影響するか：官僚の裁量